

岡山県地球温暖化対策実行計画の進捗状況

岡山県地球温暖化対策実行計画の進捗状況について、令和 4 (2022) 年度の県内の温室効果ガス排出量（速報値）を取りまとめました。

1 計画の概要

(1) 期間 平成 23(2011)年度～令和 12(2030)年度

(2) 県内の温室効果ガス排出量の削減目標

令和 12(2030)年度に平成 25(2013)年度比で 39.3%削減

2 県内の温室効果ガス排出量の状況

(1) 総括

区分 (万t-CO ₂)	基準年度 H25年度 (2013)	〈速報値〉 R 4 年度 (2022)	基準年度比 増減率	R 3 年度 (2021)	基準年度比 増減率
温室効果ガス 排出量	5,217	4,211	△19.3%	4,037	△22.6%
吸収量		△96		△102	
総合計	5,217	4,115	△21.1%	3,935	△24.6%
全国〈確定値〉 (百万t-CO ₂)	1,407	1,085	△22.9%	1,110	△21.1%

排出量の総合計が基準年度（平成 25（2013）年度）と比べて **21.1% 削減**
前年度（令和 3（2021）年度）と比べて **4.6% 増加**

排出量は、省エネの進展や再エネの拡大により、基準年度からは減少傾向にあるが、前年度(2021 年度)からは増加した。この要因は、新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ経済活動の持ち直しの動きが続き、約 6 割を占める産業部門からの排出量が増加したためと考えられる。

(2) 部門別排出量

区分 (万t-CO ₂)		基準年度 H25年度 (2013)	＜速報値＞ R4年度 (2022)	基準年度比 増減率	2030年度 目標削減率	構成 割合	全国の 構成割合
二 酸 化 炭 素	産業部門	3,202	2,481	△22.5%	△32.4%	58.9%	31.0%
	製造業	3,165	2,452	△22.5%	—	58.2%	—
	民生部門	759	548	△27.9%	—	13.0%	29.7%
	家庭	386	276	△28.5%	△66.3%	6.6%	13.9%
	業務	373	271	△27.2%	△51.3%	6.4%	15.8%
	運輸部門	445	364	△18.1%	△34.8%	8.7%	16.9%
	自動車	387	318	△17.7%	—	7.6%	—
	エネルギー転換	456	526	15.3%	△46.1%	12.5%	7.3%
	工業プロセス	136	112	△17.3%	△32.6%	2.7%	3.6%
	廃棄物部門	99	48	△51.3%		1.1%	2.6%
	計	5,097	4,080	△20.0%	△37.8%	96.9%	91.3%
	メタン	41	34	△16.0%	△11.0%	0.8%	2.6%
	一酸化二窒素	25	24	△3.3%	△16.8%	0.6%	1.5%
	代替フロン類	54	73	35.5%	△44.2%	1.7%	4.5%
合計		5,217	4,211	△19.3%	△37.6%	100.0%	100.0%

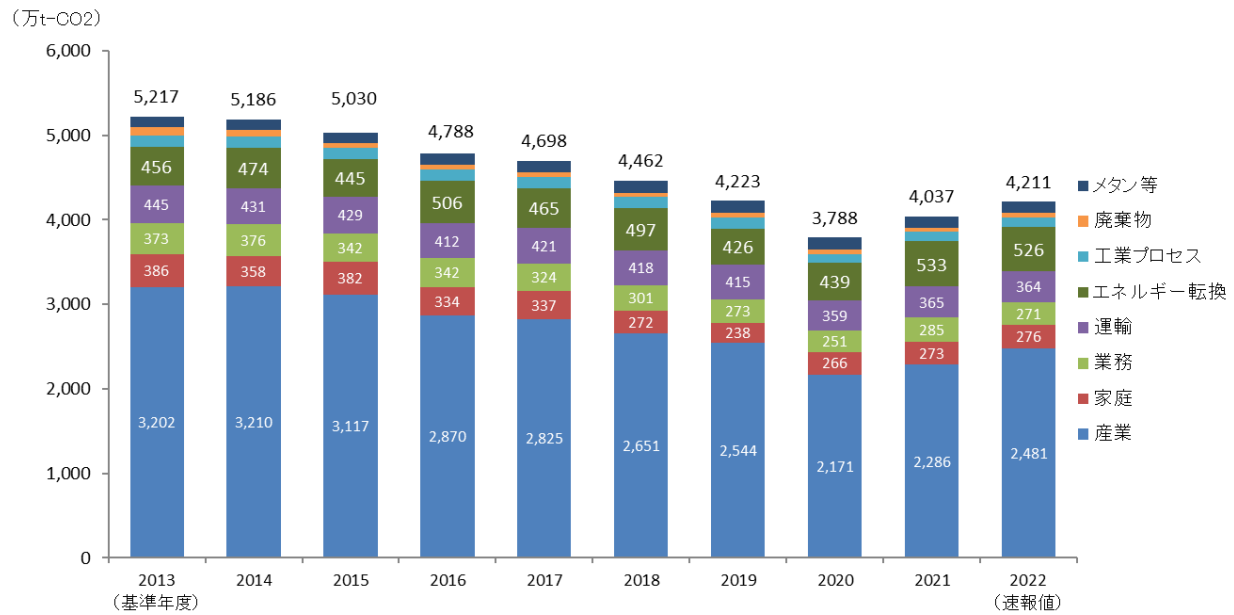
※令和4(2022)年度値は暫定値として公表されている都道府県別エネルギー消費統計等の数値を用いて算定した。

桁数処理の関係で合計・比率等の計算が合わない場合がある。

3 計画の方向性Ⅰ～Ⅳに掲げる主な指標の進捗状況

主な指標		基準年度 H25(2013)	現況 R5(2023)	目標年度 R12(2030)
方向性Ⅰ 強みを活かした脱炭素社会の構築				
次世代自動車(EV, PHEV, FCV)の保有台数		1,944台	11,777台	36,000台
方向性Ⅱ 経済成長と環境負荷低減の両立				
循環型産業・脱炭素関連の新技术・新製品の研究開発等への支援件数(累計)		34件	110件	162件
方向性Ⅲ 再生可能エネルギーの普及拡大				
再生可能エネルギー導入率 (R4(2022)年度)		6.1%	23.6%	27.9%
方向性Ⅳ 県民総参加による取組の推進				
アースキーパーメンバーシップ会員数 (人・事業所)		10,881	15,535	19,000

参考 1 温室効果ガス排出量の年度推移（単位：万 t-CO₂）



参考 2 主要 4 部門の二酸化炭素排出量の年度推移（平成 25(2013)年度を 100 とする）

